

日本工営株式会社

2019年2月8日

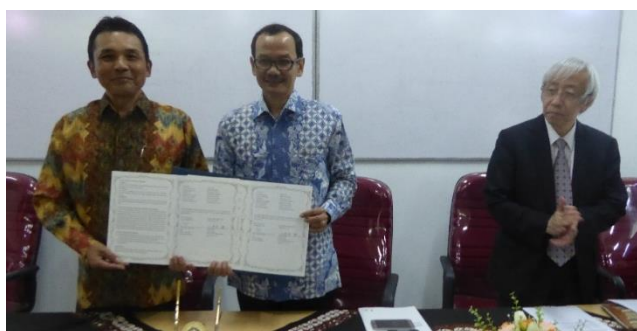
日本工営 インドネシア・ガジャマダ大学と MOU を締結 - インドネシアおよび ASEAN 諸国の持続可能な開発への貢献 -

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一、以下「当社」）は、2019年1月24日にインドネシア共和国のガジャマダ大学 (Universitas Gadjah Mada) と相互協力に係わる MOU (Memorandum of Understanding) を締結しました。当社グループは、これまでも同大学との間で、水資源管理、防災、交通・都市開発事業などで、技術・人材交流を進めており、今回の MOU 締結により更なる協力の推進を目指します。

ガジャマダ大学は 1949 年に設立された国立総合大学であり、近年ではインドネシア国内のみならず、アジアでもトップランクの研究機関として位置づけられています。また、卒業生としてジョコ・ウィドド大統領、バスキ公共事業住宅大臣など、同国の中枢を担う人材を輩出しています。ガジャマダ大学が所在するジョグジャカルタ特別州は、ジャワ文化および教育の中心として注目されています。

当社は 1959 年に東ジャワ州の排水事業に参画して以来、本年がインドネシアにおける活動の 60 周年にあたります。同国では東ジャワ州のブランタス河流域開発、北スマトラ州のアサハン事業などの国家的事業を含む水資源開発、エネルギー・電力開発、交通、都市開発、農業、防災、環境分野などの案件を実施してきました。

インドネシアでは、近年だけでもスンダ海峡津波、スラウェシ島地震と津波、ロンボク島地震、ジャカルタ首都圏の洪水、バリ島における火山活動など災害が頻発しています。また、人口増加と経済成長にともない、交通渋滞などの都市・環境問題を抱えています。これらの課題解決に向けて、当社は、「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。」という経営理念に基づき、ガジャマダ大学と共同で取り組んでまいります。



ガジャマダ大学における MOU 署名式 (2019年1月24日)
(中央：Nizam ガジャマダ大学工学部長、
左：日本工営ジャカルタ事務所 坂下所長、
右：日本工営 宮本顧問)

■日本工営の海外学術研究機関との MOU 締結の状況
当社は中央研究所を窓口として、海外学術研究機関と以下 13 件の MOU を締結しています。(※は更新調整中)

- ① 韓国電力研究院*
- ② タイアジア工科大学院*
- ③ 台湾成功大*
- ④ 中華人民共和国清華大
- ⑤ カンボジア工科大
- ⑥ ミャンマー工学会
- ⑦ スリランカペラデニア大*
- ⑧ 英国ウォリングフォード水理研究所
- ⑨ インド工科大カラプア校
- ⑩ 台湾シノテック社
- ⑪ ミャンマーヤンゴン工科大
- ⑫ マレーシア工科大
- ⑬ インドネシア ガジャマダ大

—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>